

特別支援学級の 1クラス

8人を6人に。

小学校では低学年と高学年に、 中学校では学年ごとの学級に してください。

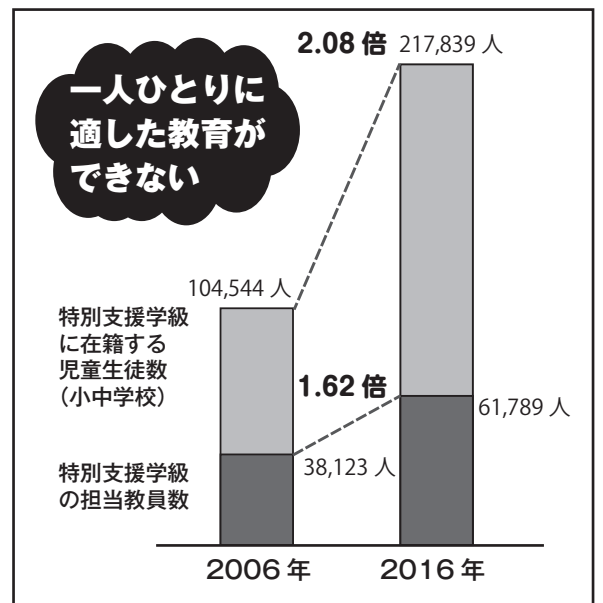


小学校、中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が急増し、10年間で約2倍になっています。様々な障害や発達段階の子どもが在籍しているため、一人ひとりに丁寧な指導をしたくても、担任1人で、8人の子どもたちに対応するには限界があります。

また、小学1年生と6年生では、課題がかけ離れており、同じクラスで生活するには無理があります。中学校3年間は、思春期を迎え、進路の悩みもあり、体と心の変化の個人差が特に大きい時期です。1学級の上限を6人とし、小学校も中学校も学年に配慮した学級編制をすることで、一人ひとりに合わせた丁寧な指導ができます。

例えば こんな子どもたちがいます

- 医療的ケアの必要な子ども
(痰の吸引やインスリン注射、経管栄養…。看護師さんと協力しながらの対応が必要です)
- 情緒障害の子ども
(じゃんけんで負けて怒ってしまう、不安の裏返しでの暴言や暴力をふるってしまう…。私たちが気持ちを受け止めながら、立ち直ります)
- 発達障害の子ども
(音に敏感、字を書くのが苦手…。それぞれのつまづきに合わせた教材を用意します)
- 知的障害の子ども
(言葉が出ない、身辺自立ができていない…。ゆっくり関わり丁寧に学習を積み重ねていきます)
- 聴覚・視覚・肢体障害の子ども
(見えにくい、聞こえにくい、マヒや車いす…。一人ひとりの障害に合わせて指導方法を工夫します)



要請署名にご協力ください

全日本教職員組合障害児教育部・教組共闘連絡会

〒102-0084 千代田区二番町 12-1 TEL 03-5211-0123